

市の施設で働く職員を紹介

想いを届ける

Vol.13

浦和博物館

学芸員 雨宮 正人

今回は、浦和博物館で働く雨宮さんに
仕事に懸ける想いを聞きました。

浦和地域の

歴史を伝える博物館

浦和博物館は、その名のとおり浦和地域の原始から現代に至るまでの歴史的な資料を調査・収集・研究し展示する、地域に根付いた博物館です。特に、見沼の新田開発や見沼通船堀に関する貴重な資料を数多く展示しています。

当館の建物は、明治11年に建てられた埼玉県師範学校(埼玉大学教育学部の前身)の校舎である「鳳翔閣」の中央部分を復元したものなんです。皆さんには、浦和レッズのエンブレムのモチーフとして知られているのではないのでしょうか。

知識や興味を広げる

きっかけにしてほしい

私は学芸員として、展示や講座の企画などさまざまな仕事をしています。ここには、子どもから高齢の方まで幅広い方が来館しますから、その知りたいこともさまざまです。その方がどんなことを知りたいのか、何を見たいのか、元々どんな知識を持っているのかを、お話ししながら的確に把握して、その知的好奇心を満たすことが役目だと思っています。子どもたちには、博物館で一つでも何かに興味を持ってほしいですね。そのあと、自分自身でも図書館などに行つて調べるなど、博物館が知識や興味を広げるきっかけになるような場でありたいと思っています。

積み重ねてきた歴史を

未来へ生かす

自分の住む場所にどんな歴史があるのかを知ること、先人たちの知恵や想いを未来へ生かすことができます。例えば、その土地で過去にどんな災害があったのか知ること、災害対策に生かすことができますよね。自分があるさいたま市のことをもっと知ってほしいです。

博物館には、収集した資料を百年、二百年先へと伝えていく使命があります。地元に残されたものがどんな意味を持つかを突き詰め、先人の想いを地域に還元していきたいですね。

浦和博物館

浦和の地で生まれ、伝えられてきた歴史や文化を紹介する博物館です。

住所：緑区三室2458

開館時間：9時～16時30分

休館日：月曜日(祝・休日を除く)、令和元年12月28日(土)～1月4日(土)・14日(火)

問合せ：☎・F874・3960



ちょっと昔のくらしの道具展

期間：3月22日(日)まで

明治時代から昭和40年代頃までに、普段の生活のなかで使われていたさまざまな道具や風景の写真を紹介します。



テレビ広報番組「のびのびシティ さいたま市」出演：ポビー・オロゴンさん ほか

●放送日時／第1・3日曜日 10時45分～ テレビ埼玉 ※第2・4日曜日は前の週の再放送

◆1月5日放送／新春スペシャル 市長と語る2020

◆1月19日放送／さいたま市の日本酒

※放送時間・内容は変更する場合があります。



Instagram
公式アカウント
@saitamacity_official

